

令和7年度 幼保小連携推進事業「授業と保育の相互参観（協議会）」

第1回協議会だより 《中方部》

令和7年6月6日（金）13:30～14:15

【授業と保育の相互参観】 郡山市立大成小学校

～大成小学校授業参観について～

1学年3クラスにおいて、1組と3組は国語「あいうえおであそぼう」、2組は算数「あわせていくつ ふえるといくつ」の授業を提供していただきました。友だちとの対話を重視した取組や自分の考えを発表する場面を数多く設定するなど、どのクラスも先生方が子どもたちの実態を踏まえ、一人一人に寄り添いながら工夫した取組がなされていました。お世話になった幼稚園や保育所等の先生方との再会に嬉しそうな表情を浮かべるとともに、話をしっかり聞いて一生懸命学習に取り組んでいました。



【実践発表・協議会内容】

テーマ「幼保小の相互理解と円滑な接続の在り方」について～

① 授業参観より

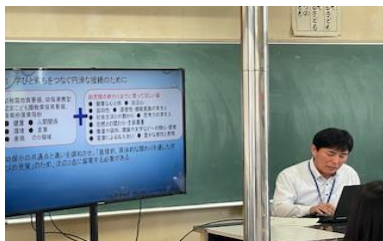
- ・先生が子どもに寄り添い、常に笑顔で関わっていてとても良かったです。
- ・先生が否定的な言葉を使わず、子どもたち自身に気付かせることを通して、それによって子どもたちは自分の意見を言い出せるようになると思います。
- ・話すスピード、指示の出し方が、一人ひとりに配慮されていました。

② 発達や学びをつなぐスタートカリキュラムの実践～安心して学校生活を送るために～

- ・1年生を赤ちゃん扱いするのではなく、出来ることは自分でやらせてみて、幼稚園や保育所（園）で積み上げてきたものを生かしながら次の学びにつなげていくことが大切だと思います。

③ 就学前後の子どもの姿について

- ・幼稚園や保育所（園）における遊びを通して、遊びに関する興味関心を高めていくことが、小学校での学びや安心感に繋がると思います。



《参加者からのアンケート》

・担任の先生の子どもたちの関わり方を見て褒める、認める、価値付けることの大切さを改めて感じた。幼稚園や保育所、中学校の先生方と話しあう中で、思いやりの心や自分の思いを相手に伝えることはどの年齢でも大切だと感じました。・授業参観では先生方の穏やかで朗らかな言葉かけの中子どもたちがのびのびと学び、一生懸命自分の意見を伝えようとする姿にパワーと純粋さを感じさせていただきました。